

平成31年4月 1日から
令和元年9月30日まで

令和元年度上半期

美濃加茂市下水道事業業務状況説明書

美濃加茂市下水道事業

美濃加茂市下水道事業の業務の状況

美濃加茂市下水道事業は、雨水の排除による浸水防止、汚水の速やかな排除による居住環境の向上及び公共用水域の水質保全に努めております。

下水道施設として、処理場4施設（公共下水道1、農業集落排水施設3）と総延長約519kmの管渠を有し、マンホールポンプは111基あります。

今後は、地方債の元利償還とともに、これら処理場の運転、更新費用、管渠の老朽化に伴う布設替費用などが大きな課題となっており、引き続き経費の削減に努めるとともに、未水洗化世帯の水洗化の促進等を図るなど、財政運営の健全化に努めてまいります。

令和元年度（上半期）の状況

1 概況

令和元年度上半期の処理水量は2,874,190 m³（前年度比50,605 m³減、1.73%減）となりました。また有収水量は2,476,339 m³（前年度比33,746 m³増、1.38%増）となっております。

汚水処理水量（4月～9月）

区分	令和元年度	平成30年度	比較増減	増減率
公共	2,414,034m ³	2,452,605m ³	△38,571m ³	△1.57%
特環	328,516m ³	335,111m ³	△6,595m ³	△1.97%
農集	131,640m ³	137,079m ³	△5,439m ³	△3.97%
計	2,874,190m ³	2,924,795m ³	△50,605m ³	△1.73%

有収水量及び有収率（4月～9月）

区分	令和元年度	平成30年度	比較増減	増減率
有収水量	2,476,339m ³	2,442,593m ³	33,746m ³	1.38%
有収率	86.16%	83.51%	2.65ポイント	—

2 建設改良工事等について（1000万円以上のもの）

上半期に次の建設改良工事を実施しております。

工事名等	工期	備考
小山第1雨水幹線築造工事(第1工区)	H30.11.21～R1.6.20	繰越工事
今泉第2雨水幹線築造工事(第5工区)	R1.7.17～R2.2.28	実施中
小山第2雨水幹線築造工事(第1工区)	R1.8.14～R2.2.28	実施中

3 予算の執行状況（令和元年4月～9月）

令和元年度9月末までの予算の執行状況は、次の表のとおりです。

(1) 収益的収支（税抜き）

収益的収支とは、施設の運転・管理など、事業を運営するための収支のことです。

【収入】（4月～9月）

区 分	令和元年度	平成30年度	増減額	増減率
営業収益	384,548,250円	379,208,530円	5,339,720円	1.41%
営業外収益	600,386,975円	600,480,124円	△93,149円	△0.02%
計	984,935,225円	979,688,654円	5,246,571円	0.54%

【支出】（4月～9月）

区 分	令和元年度	平成30年度	増減額	増減率
営業費用	209,674,291円	214,629,365円	△4,955,074円	△2.31%
営業外費用	165,768,330円	181,273,336円	△15,505,006円	△8.55%
特別損失	0円	552,940円	△552,940円	皆減
計	375,442,621円	396,455,641円	△21,013,020円	△5.30%

(2) 資本的収支（税込み）

資本的収支とは、下水道施設を建設・整備するための収支のことです。

【収入】（4月～9月）

区 分	令和元年度	平成30年度	増減額	増減率
企業債	30,400,000円	0円	30,400,000円	皆増
負担金	43,288,700円	59,489,009円	△16,200,309円	△27.23%
分担金	1,269,700円	380,000円	889,700円	234.13%
計	74,958,400円	59,869,009円	15,089,391円	25.20%

【支出】（4月～9月）

区 分	令和元年度	平成30年度	増減額	増減率
建設改良費	108,091,637円	42,945,476円	65,146,161円	151.70%
企業債償還金	783,381,665円	750,364,028円	33,017,637円	4.40%
計	891,473,302円	793,309,504円	98,163,798円	12.37%

令和元年度(上半期)美濃加茂市下水道事業損益計算書

(平成31年4月1日から令和元年9月30日まで)

(単位:円)

1 営業収益

(1) 下水道使用料	384,360,750	
(2) 雨水処理負担金	0	
(3) 受託収益	0	
(4) その他営業収益	<u>187,500</u>	384,548,250

2 営業費用

(1) 污水管渠費(流関公共)	9,157,436	
(2) 污水管渠費(蜂屋川公共)	7,712,009	
(3) 污水管渠費(下米田特環)	3,155,588	
(4) 污水管渠費(稲辺農集)	137,785	
(5) 污水管渠費(山之上農集)	992,692	
(6) 污水管渠費(伊深農集)	365,356	
(7) 雨水管渠費(流関公共)	1,720,756	
(8) 雨水管渠費(蜂屋川公共)	114,245	
(9) 雨水ポンプ場費(流関公共)	3,114,147	
(10) 処理場費(蜂屋川公共)	54,013,960	
(11) 処理場費(稲辺農集)	621,350	
(12) 処理場費(山之上農集)	1,784,925	
(13) 処理場費(伊深農集)	1,577,469	
(14) 普及指導費	0	
(15) 業務費	0	
(16) 総係費	15,824,461	
(17) 木曾川右岸流域下水道維持管理費	109,382,112	
(18) 富加特環維持管理費	0	
(19) 八百津特環維持管理費	0	
(20) 減価償却費	558,930,000	
(21) 資産減耗費	0	
(22) 受託浄化槽事業費	<u>0</u>	<u>768,604,291</u>

営業損失

384,056,041

3 営業外収益

(1) 受取利息及び配当金	3,280		
(2) 他会計補助金	0		
(3) 他会計負担金	600,000,000		
(4) 長期前受金戻入益	305,225,000		
(5) 雑収益	<u>383,695</u>	905,611,975	

4 営業外費用

(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	165,003,855		
(2) 雑支出	<u>764,475</u>	<u>165,768,330</u>	<u>739,843,645</u>

経常利益 355,787,604

当年度純利益(上半期) 355,787,604

前年度繰越利益剰余金 138,711,254

その他の未処分利益剰余金変動額 132,933,333

当年度未処分利益剰余金 627,432,191

(注)減価償却費及び長期前受金戻入益は、年間予定額の2分の1を計上しました。

令和元年度(上半期)美濃加茂市下水道事業貸借対照表

(令和元年9月30日)

(単位:円)

資 産 の 部

1 固 定 資 産

(1)有形固定資産

イ 土 地		2,387,364,313	
ロ 建 物	1,675,049,203		
減価償却累計額	<u>△ 300,185,910</u>	1,374,863,293	
ハ 構 築 物	36,511,401,082		
減価償却累計額	<u>△ 6,848,672,720</u>	29,662,728,362	
ニ 機 械 及 び 装 置	1,808,188,118		
減価償却累計額	<u>△ 869,385,736</u>	938,802,382	
ホ 車 両 及 び 運 搬 具	240,129		
減価償却累計額	<u>△ 228,124</u>	12,005	
ヘ 工 具 器 具 及 び 備 品	3,553,579		
減価償却累計額	<u>△ 2,673,251</u>	880,328	
ト 建 設 仮 勘 定		<u>57,778,522</u>	
有形固定資産合計			34,422,429,205

(2)無形固定資産

イ 施 設 利 用 権		<u>1,770,180,706</u>	
無形固定資産合計			1,770,180,706

(3)投 資

イ 出 資 金		<u>1,580,000</u>	
投資合計			<u>1,580,000</u>

固定資産合計 36,194,189,911

2 流 動 資 産

(1)現 金 預 金		330,327,023	
(2)未 収 金	88,636,735		
貸倒引当金	<u>△ 3,173,418</u>	85,463,317	
(3)貯 蔵 品		1,759,820	
(4)前 払 費 用		7,269,300	
(5)前 払 金		42,240,000	
(6)その他流動資産		22,611,280	

流動資産合計 489,670,740

工事勘定 99,326,703

資産合計 36,783,187,354

負 債 の 部

3	固 定 負 債			
	(1) 企 業 債			
	イ 建設改良費等の財源に充てるための企業債	<u>17,124,873,144</u>		
	企業債合計		17,124,873,144	
	(2) 引 当 金			
	イ 退職給付引当金	<u>50,112,000</u>		
	引当金合計		<u>50,112,000</u>	
	固定負債合計			17,174,985,144
4	流 動 負 債			
	(1) 企 業 債			
	イ 建設改良費等の財源に充てるための企業債	<u>791,566,478</u>		
	企業債合計		791,566,478	
	(2) 未 払 金		9,868,966	
	(3) 前 受 金		11,486	
	(4) 引 当 金			
	イ 賞与引当金	<u>0</u>		
	引当金合計		0	
	(5) その他流動負債		<u>35,767,531</u>	
	流動負債合計			837,214,461
5	繰 延 収 益			
	(1) 長期前受金		20,692,401,284	
	(2) 収益化累計額		<u>△ 4,591,110,990</u>	
	繰延収益合計			<u>16,101,290,294</u>
	負債合計			<u>34,113,489,899</u>

資 本 の 部

6	資 本 金			1,019,712,068
7	剰 余 金			
	(1) 資 本 剰 余 金			
	イ 国庫補助金	727,698,490		
	ロ 受贈財産評価額	39,042,816		
	ハ 受益者負担金	242,512,379		
	ニ 受益者分担金	13,085,912		
	ホ その他資本剰余金	<u>213,599</u>		
	資本剰余金合計		1,022,553,196	
	(2) 利 益 剰 余 金			
	イ 当年度未処分利益剰余金	<u>627,432,191</u>		
	利益剰余金合計		<u>627,432,191</u>	
	剰余金合計			<u>1,649,985,387</u>
	資本合計			<u>2,669,697,455</u>
	負債資本合計			<u>36,783,187,354</u>

平成 30 年度美濃加茂市下水道事業決算概要

① 業務実績について

平成 30 年度末における供用開始区域内人口は 54,476 人で前年度と比較して 253 人増加し、行政区域内人口に対する普及率は 95.58% で前年度と比較して 0.11 ポイント減少しました。また、水洗化率は 87.30% で前年度と比較して 1.54 ポイント増加しました。

	平成 30 年度	平成 29 年度	比較増減	増減率(%)
行政区域内人口 (A)	56,993	56,665	328	0.58
供用開始区域内人口 (B)	54,476	54,223	253	0.47
水洗便所設置済人口 (C)	47,556	46,499	1,057	2.27
普及率 (B)/(A)	95.58	95.69	△0.11	—
水洗化率 (C)/(B)	87.30	85.76	1.54	—

次に、年間汚水処理水量は、5,556,572 m³ で、前年度と比較して 209,803 m³ 減少し、年間有収水量は、4,855,681 m³ で、前年度と比較して 56,315 m³ 増加しました。

また、有収率は、87.39% となり、前年度と比較して 4.16 ポイント増加しました。

	平成 30 年度	平成 29 年度	比較増減	増減率(%)
年間汚水処理水量 m ³ (A)	5,556,572	5,766,375	△209,803	△3.64
年間有収水量 m ³ (B)	4,855,681	4,799,366	56,315	1.17
有収率 (B)/(A)	87.39	83.23	4.16	—

② 予算執行状況について(税込み)(※予算額と比較するため、税込み表示をしています。)

ア. 収益的収支(3 条)

収益的収入の決算額は 2,328,037,002 円で、予算額 2,297,157,000 円に対し 30,880,002 円の増収となり、収入率は 101.34% でした。

収益的支出の決算額は 2,187,701,222 円で、予算額 2,297,157,000 円に対し執行率は 95.24% でした。なお、納付消費税及び地方消費税は、28,955,000 円となりました。

	予算額(円)	決算額(円)	差引(円)	収入率(%)
下水道事業収益	2,297,157,000	2,328,037,002	30,880,002	101.34
営業収益	893,455,000	916,011,940	22,556,940	102.52
営業外収益	1,403,702,000	1,412,025,062	8,323,062	100.59

	予算額(円)	決算額(円)	執行率(%)	不用額(円)
下水道事業費用	2,297,157,000	2,187,701,222	95.24	109,455,778
営業費用	1,908,807,000	1,803,627,798	94.49	105,179,202
営業外費用	385,650,000	382,384,207	99.15	3,265,793
特別損失	1,700,000	1,689,217	99.37	10,783
予備費	1,000,000	0	0.00	1,000,000

イ. 資本的収支(4条)

資本的収入の決算額は 1,200,326,004 円で、予算額 1,410,122,000 円に対し 209,795,996 円の減収となり、収入率は 85.12%でした。

資本的支出の決算額は 1,815,916,122 円で予算額 2,022,609,000 円に対し、翌年度繰越額 80,300,000 円を除く 126,392,878 円の不用額が生じ、執行率は 89.78%でした。

建設改良費の執行額は、306,988,043 円で、主なものは、今泉第2雨水幹線築造工事(第4工区)、柏木ポンプ場自家発電設備更新工事などです。

また、建設改良費の繰越として小山第1雨水幹線築造工事(第1工区)1件 80,300,000 円を翌年度へ繰越しました。

なお、資本的収入額(翌年度の支出の財源に充当する額 9,850,000 円を除く)が資本的支出額に対し不足する額 625,440,118 円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 1,445,805 円、減債積立金 132,933,333 円、過年度分損益勘定留保資金 107,024,199 円、当年度分損益勘定留保資金 384,036,781 円で補てんしました。

	予算額(円)	決算額(円)	差引(円)	収入率(%)
資本的収入	1,410,122,000	1,200,326,004	△209,795,996	85.12
企業債	1,030,500,000	851,300,000	△179,200,000	82.61
負担金	231,652,000	261,818,904	30,166,904	113.02
分担金	970,000	992,100	22,100	102.28
補助金	147,000,000	86,215,000	△60,785,000	58.65

	予算額(円)	決算額(円)	執行率(%)	翌年度繰越額(円)	不用額(円)
資本的支出	2,022,609,000	1,815,916,122	89.78	80,300,000	126,392,878
建設改良費	513,680,000	306,988,043	59.76	80,300,000	126,391,957
企業債償還金	1,508,929,000	1,508,928,079	100.00	0	921

③ 経営成績について(税抜き)(※経営成績を正しく表示するため、税抜き表示をしています。)

平成30年度の損益は、総収益 2,267,423,598 円に対し、総費用 2,128,712,344 円で、差し引き 138,711,254 円の純利益となりました。

ア. 収益比較

下水道事業収益は、2,267,423,598 円で、前年度と比較して 35,290,558 円(1.53%)の減収となりました。

営業収益は、855,705,686 円で、総収益の 37.74%を占めており、科目別に前年度と比較して、下水道使用料 10,787,515 円(1.45%)増、雨水処理負担金 5,393,087 円(5.64%)増、受託事業収益 169,545 円(61.71%)増など、全体では 16,370,747 円(1.95%)の増収となりました。

営業外収益は、1,411,717,912 円で、前年度と比較して、他会計補助金 999,043 円(0.52%)増、他会計負担金 52,245,578 円(8.02%)減、長期前受金戻入益 1,012,829 円(0.17%)増、雑収益 1,425,778 円(22.35%)減など、全体では 51,661,305 円(3.53%)の減収となりました。

科目	平成 30 年度(円)	平成 29 年度(円)	増減額(円)	増減比(%)
下水道事業収益	2,267,423,598	2,302,714,156	△35,290,558	△1.53
営業収益	855,705,686	839,334,939	16,370,747	1.95
下水道使用料	753,855,675	743,068,160	10,787,515	1.45
雨水処理負担金	101,029,327	95,636,240	5,393,087	5.64
受託事業収益	444,284	274,739	169,545	61.71
その他営業収益	376,400	355,800	20,600	5.79
営業外収益	1,411,717,912	1,463,379,217	△51,661,305	△3.53
受取利息	4,745	6,566	△1,821	△27.73
他会計補助金	194,265,090	193,266,047	999,043	0.52
他会計負担金	599,427,004	651,672,582	△52,245,578	△8.02
長期前受金戻入益	613,067,331	612,054,502	1,012,829	0.17
雑収益	4,953,742	6,379,520	△1,425,778	△22.35

イ. 費用比較

下水道事業費用は、2,128,712,344円で、前年度と比較して 41,068,479円(1.89%)の減となりました。

営業費用は、1,756,468,599円で総費用の82.51%を占めており、前年度と比較して8,292,085円の減少となりました。これは主に、汚水管渠費 6,978,897円(7.70%)、維持管理負担金費 12,131,044円(4.78%)、資産減耗費 857,780円(85.0%)がそれぞれ減少したためであります。

営業外費用は、370,679,655円で総費用の17.41%を占めており、前年度と比較して34,340,484円の減少となりました。これは支払利息 30,506,699円(7.97%)の減、雑支出 3,833,785円(17.40%)の減によるものです。

特別損失は、平成30年9月の台風による停電で、発電機運転作業を行った費用を計上したものです。

科目	平成 30 年度(円)	平成 29 年度(円)	増減額(円)	増減比(%)
下水道事業費用	2,128,712,344	2,169,780,823	△41,068,479	△1.89
営業費用	1,756,468,599	1,764,760,684	△8,292,085	△0.47
汚水管渠費	83,616,246	90,595,143	△6,978,897	△7.70
雨水管渠費	6,492,301	1,390,350	5,101,951	366.95
雨水ポンプ場費	26,354,024	26,201,992	152,032	0.58
処理場費	220,178,601	217,860,440	2,318,161	1.06
業務費	19,098,148	17,872,222	1,225,926	6.86
総係費	40,075,610	38,681,053	1,394,557	3.61
維持管理負担金費	241,816,627	253,947,671	△12,131,044	△4.78
減価償却費	1,118,241,681	1,116,928,054	1,313,627	0.12
資産減耗費	151,388	1,009,168	△857,780	△85.00

受託事業費	443,973	274,591	169,382	61.69
営業外費用	370,679,655	405,020,139	△34,340,484	△8.48
支払利息	352,476,703	382,983,402	△30,506,699	△7.97
雑支出	18,202,952	22,036,737	△3,833,785	△17.40
特別損失	1,564,090	0	1,564,090	—
災害による損失	1,564,090	0	1,564,090	—

ウ. 使用料単価・汚水処理原価

平成30年度の有収水量1m³当たりの使用料単価は155.25円で、前年度と比較して0.42円(0.27%)の増加となっています。

汚水処理原価は252.51円で、前年度と比較して17.88円(6.61%)の減少となっています。

その結果、使用料回収率は61.48%となり、使用料単価と汚水処理原価の差額は97.26円となっています。

(単位:円/m³)

	平成30年度	平成29年度	増減額(円)	増減比(%)	
使用料単価 (A)	155.25	154.83	0.42	0.27	
汚水処理原価 (B)	252.51	270.39	△17.88	△6.61	
内訳	維持管理費	120.54	127.19	△6.65	△5.23
	職員給与費	7.77	6.56	1.21	18.45
	地方債利息	44.81	52.29	△7.48	14.30
	減価償却費	79.39	84.35	△4.96	△5.88
差額 (A)－(B)	△97.26	△115.56	18.30	△15.84	

※分流式下水道等に要する経費を控除する前の汚水処理原価

エ. 人件費(職員給与費)

平成30年度の損益勘定職員給与費は、37,734,786円で、総費用に占める割合は、1.77%となっています。

職員給与費の下水道使用料に対する割合は5.01%で、前年度と比較して0.78ポイント高くなりました。職員1人当たり営業収益は、29経営指標に比べ22.6%多くなっています。

区 分	30年度	29年度	比較増減	29経営指標
職員1人当たり有収水量 (m ³)	971,136	959,873	11,263	—
職員1人当たり営業収益 (円)	171,141,137	167,866,988	3,274,149	139,636,000
職員1人当たり水洗化人口 (人)	9,511	9,300	211	—

※職員数＝損益勘定職員 H30年度5名

オ. 下水道使用料・受益者負担金(分担金)の収入状況(税込み)

平成30年度の下水道使用料と受益者負担金(分担金)の収入状況は、次表のとおりです。

下水道使用料の過年度分の収納率は、96.66%で前年度と比較して0.48ポイント減少、当年

度分の収納率は、92.18%となり前年度と比較して0.03ポイント上昇しました。

また、口座振替による入金は、月末振替翌月収納となるため、3月分の口座振替額(53,388,457円)を収入済みとみなすと、実質的には当年度分の収納率は、98.74%となり、前年度と比較して0.01ポイント減少しました。

下水道使用料

年度	区分	調定額(円)	収入済額(円)	不納欠損(円)	収納率(%)
平成29年度	当年度分	802,510,374	739,496,860	—	92.15
	過年度分	61,614,767	59,721,037	138,426	97.14
	計	864,125,141	799,217,897	138,426	92.50
平成30年度	当年度分	814,161,089	750,480,976	—	92.18
	過年度分	64,768,818	62,535,074	71,238	96.66
	計	878,929,907	813,016,050	71,238	92.51

受益者負担金(分担金)の過年度分の収納率は、14.35%で前年度と比較して7.63ポイント上昇、当年度分の収納率は、98.52%となり前年度と比較して1.41ポイント上昇しました。

受益者負担金(分担金)

年度	区分	調定額(円)	収入済額(円)	不納欠損(円)	収納率(%)
平成29年度	当年度分	51,719,400	50,224,400	—	97.11
	過年度分	20,792,296	1,397,800	9,291,700	6.72
	計	72,511,696	51,622,200	9,291,700	84.01
平成30年度	当年度分	60,854,600	59,956,400	—	98.52
	過年度分	11,597,796	1,466,500	1,377,100	14.35
	計	72,452,396	61,422,900	1,377,100	86.68

カ. 経営分析比率

収益性を示す総収支比率は106.52%(前年度比0.39ポイントの増)、単年度黒字の目安となる経常収支比率は106.59%(前年度比0.46ポイントの増)、下水道固有の事業に係る営業収支比率は48.72%(前年度比1.16ポイントの増)となっています。

区分	算式	30年度	29年度	29指標
総収支比率(%)	総収益/総費用×100	106.52	106.13	111.8
経常収支比率(%)	経常収益/経常費用×100	106.59	106.13	108.1
営業収支比率(%)	営業収益/営業費用×100	48.72	47.56	81.0

④ 財政状態について

最近2年間の貸借対照表は、④-1表のとおりです。資産合計は、前年度と比較して729,101,928円減少しました。その内訳は、固定資産が806,867,669円の減少、流動資産が

77,765,741 円の増加となっています。

負債・資本の合計も同じく 729,101,928 円減少しました。その内訳は、固定負債が 719,250,139 円、繰延収益が 258,219,204 円、剰余金が 4,158,451 円それぞれ減少し、流動負債が 109,656,161 円、資本金が 142,869,705 円それぞれ増加しました。

④-1 表

	30 年度(円)	29 年度(円)	比較増減(円)	前年度比(%)	構成比率(%)	
	(A)	(B)			(A) - (B)	(A)/(B)
固定資産	36,749,664,911	37,556,532,580	△806,867,669	97.85	97.07	97.33
流動資産	1,109,263,304	1,031,497,563	77,765,741	107.54	2.93	2.67
資産合計	37,858,928,215	38,588,030,143	△729,101,928	98.11	100.00	100.00
固定負債	17,144,585,144	17,863,835,283	△719,250,139	95.97	45.29	46.29
流動負債	2,041,931,326	1,932,275,165	109,656,161	105.67	5.39	5.01
繰延収益	16,358,501,894	16,616,721,098	△258,219,204	98.45	43.21	43.06
資本金	1,019,712,068	876,842,363	142,869,705	116.29	2.69	2.27
剰余金	1,294,197,783	1,298,356,234	△4,158,451	99.68	3.42	3.37
負債資本合計	37,858,928,215	38,588,030,143	△729,101,928	98.11	100.00	100.00

④-2 表は、財務状態を示す指標です。

事業の安全性を見る視点として、流動比率は 54.32% (前年度比 0.94 ポイントの増)、自己資本構成比率は 49.32% (前年度比 0.62 ポイントの増)、固定資産対長期資本比率は 102.60% (前年度比 0.14 ポイントの増)となっています。

④-2 表

区 分	算 式	30年度	29年度	29 指標
流動比率(%)	流動資産/流動負債×100	54.32	53.38	67.6
自己資本構成比率(%)	(資本合計+繰延収益)/負債・資本合計 ×100	49.32	48.70	59.5
固定資産対長期資本比率(%)	固定資産/(固定負債+資本合計+繰延収益)×100	102.60	102.46	101.6

以上が平成 30 年度の経営状況です。市民の節水意識の高まりや、節水型機器等の普及により、有収水量の伸びは大きく期待できませんが、今後とも水洗化率向上等による収入増を図り、効率的な設備投資やコスト縮減による経営の健全化に努め、市民の快適な暮らしと安心・安全なまちづくりの推進に努めてまいります。

平成30年度美濃加茂市下水道事業損益計算書

(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

(単位:円)

1 営業収益

(1) 下水道使用料	753,855,675	
(2) 雨水処理負担金	101,029,327	
(3) 受託事業収益	444,284	
(4) その他営業収益	376,400	855,705,686

2 営業費用

(1) 汚水管渠費(流関公共)	29,136,519	
(2) 汚水管渠費(蜂屋川公共)	29,534,701	
(3) 汚水管渠費(下米田特環)	13,457,177	
(4) 汚水管渠費(稲辺農集)	807,541	
(5) 汚水管渠費(山之上農集)	8,118,881	
(6) 汚水管渠費(伊深農集)	2,561,427	
(7) 雨水管渠費(流関公共)	6,012,151	
(8) 雨水管渠費(蜂屋川公共)	480,150	
(9) 雨水ポンプ場費(流関公共)	26,354,024	
(10) 処理場費(蜂屋川公共)	152,770,612	
(11) 処理場費(稲辺農集)	13,239,940	
(12) 処理場費(山之上農集)	26,558,671	
(13) 処理場費(伊深農集)	27,609,378	
(14) 普及指導費	0	
(15) 業務費	19,098,148	
(16) 総係費	40,075,610	
(17) 木曾川右岸流域下水道維持管理費	234,693,818	
(18) 富加特環維持管理費	6,624,893	
(19) 信友地区特環維持管理費	497,916	
(20) 減価償却費	1,118,241,681	
(21) 資産減耗費	151,388	
(22) 受託浄化槽事業費	443,973	1,756,468,599

営業損失

900,762,913

3 営業外収益			
(1) 受取利息及び配当金	4,745		
(2) 他会計補助金	194,265,090		
(3) 他会計負担金	599,427,004		
(4) 長期前受金戻入益	613,067,331		
(5) 雑収益	<u>4,953,742</u>	1,411,717,912	
4 営業外費用			
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	352,476,703		
(2) 雑支出	<u>18,202,952</u>	<u>370,679,655</u>	<u>1,041,038,257</u>
経常利益			140,275,344
5 特別損失			
(1) 災害による損失	<u>1,564,090</u>	<u>1,564,090</u>	<u>△ 1,564,090</u>
当年度純利益			138,711,254
前年度繰越利益剰余金			0
その他の未処分利益剰余金変動額			<u>132,933,333</u>
当年度未処分利益剰余金			<u><u>271,644,587</u></u>

平成30年度美濃加茂市下水道事業貸借対照表

(平成31年3月31日)

(単位:円)

資 産 の 部

1 固 定 資 産

(1)有形固定資産

イ 土 地		2,387,364,313	
ロ 建 物	1,675,049,203		
減価償却累計額	<u>△ 280,118,910</u>	1,394,930,293	
ハ 構 築 物	36,511,401,082		
減価償却累計額	<u>△ 6,391,123,220</u>	30,120,277,862	
ニ 機 械 及 び 装 置	1,808,188,118		
減価償却累計額	<u>△ 816,755,236</u>	991,432,882	
ホ 車 両 及 び 運 搬 具	240,129		
減価償却累計額	<u>△ 228,124</u>	12,005	
ヘ 工 具 器 具 及 び 備 品	3,553,579		
減価償却累計額	<u>△ 2,550,251</u>	1,003,328	
ト 建 設 仮 勘 定		<u>57,778,522</u>	
有形固定資産合計			34,952,799,205

(2)無形固定資産

イ 施 設 利 用 権		<u>1,795,285,706</u>	
無形固定資産合計			1,795,285,706

(3)投 資

イ 出 資 金		<u>1,580,000</u>	
投資合計			<u>1,580,000</u>
固定資産合計			36,749,664,911

2 流 動 資 産

(1)現 金 預 金			1,007,515,281
(2)未 収 金		79,425,661	
貸倒引当金	<u>△ 3,173,418</u>		76,252,243
(3)貯 蔵 品			781,780
(4)前 払 金			24,700,000
(5)その他流動資産			<u>14,000</u>
流動資産合計			<u>1,109,263,304</u>

資 産 合 計

37,858,928,215

負債の部

3	固定負債			
	(1) 企業債			
	イ 建設改良費等の財源に充てるための企業債	<u>17,094,473,144</u>		
	企業債合計		17,094,473,144	
	(2) 引当金			
	イ 退職給付引当金	<u>50,112,000</u>		
	引当金合計		<u>50,112,000</u>	
	固定負債合計			17,144,585,144
4	流動負債			
	(1) 企業債			
	イ 建設改良費等の財源に充てるための企業債	<u>1,574,948,143</u>		
	企業債合計		1,574,948,143	
	(2) 未払金		454,897,803	
	(3) 前受金		2,365,380	
	(4) 引当金			
	イ 賞与引当金	<u>4,720,000</u>		
	引当金合計		4,720,000	
	(5) その他流動負債		<u>5,000,000</u>	
	流動負債合計			2,041,931,326
5	繰延収益			
	(1) 長期前受金		20,647,842,884	
	(2) 収益化累計額		<u>△ 4,289,340,990</u>	
	繰延収益合計			<u>16,358,501,894</u>
	負債合計			<u><u>35,545,018,364</u></u>

資本の部

6	資本金			1,019,712,068
7	剰余金			
	(1) 資本剰余金			
	イ 国庫補助金	727,698,490		
	ロ 受贈財産評価額	39,042,816		
	ハ 受益者負担金	242,512,379		
	ニ 受益者分担金	13,085,912		
	ホ その他資本剰余金	<u>213,599</u>		
	資本剰余金合計		1,022,553,196	
	(2) 利益剰余金			
	イ 当年度未処分利益剰余金	<u>271,644,587</u>		
	利益剰余金合計		<u>271,644,587</u>	
	剰余金合計			<u>1,294,197,783</u>
	資本合計			<u>2,313,909,851</u>
	負債資本合計			<u><u>37,858,928,215</u></u>